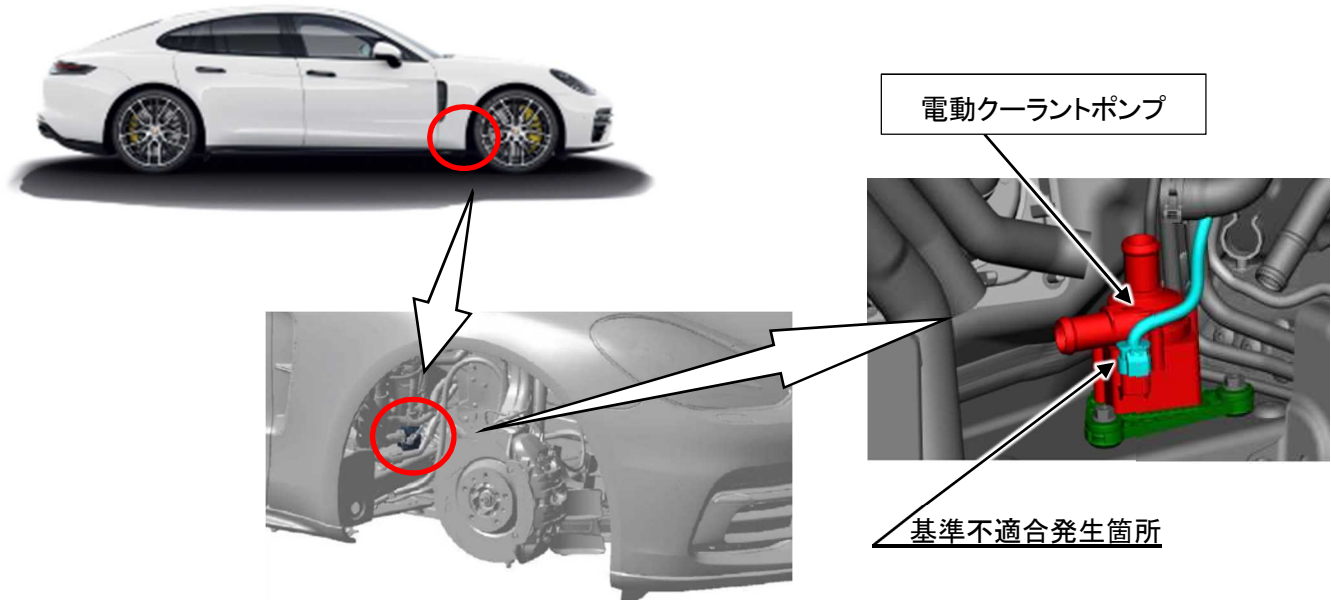


改善箇所説明図



注：□内は交換する部品を示す

エアコン用の電動クーラントポンプにおいて、シーリングの設計が不適切なため、シール性が不足しており、ポンプのコントロールユニット部に湿気が入り、ポンプ内部で短絡が発生する場合がある。そのため、ヒーターの機能が停止し、そのままの状態で使用を続けると、ポンプのコネクタの過熱により、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、電動クーラントポンプを交換すると共に、コネクタを点検し、必要に応じて交換する。

識別：改善済車両には車台番号打刻 11 桁目の下に黄色ペイントを塗布する。